

## 美の里づくり審査会特別賞

竹原郷づくり協議会（栃木県茂木町）

### かぐや姫の郷竹原

竹原郷づくり協議会は農村景観の保全運動として、集落内の農地、水路、農道等の草刈等を集落ぐるみで行うなど、良好で美しい農村景観づくりに努めています。加えて、都市住民を対象にしたボランティアを

募集して、竹林、里山の保全活動を展開しています（NPO法人地球緑化センター）。

また、「かぐや姫の郷」の郷人（オーナー）の取組みとして、棚田での稲作体験を実施、都市農村交流事



業としてタケノコ掘り体験、ホタル鑑賞会等を実施するなど、四季折々の体験メニューを提供しています（平成17年、棚田オーナー数17組）。

また、タケノコ、竹などを活かした特産品づくりに取組み、道の駅「もてぎ」などで販売しており、農村女性や高齢者にとっての活躍の場となっています。

さらに、集落ぐるみで景観づくりへの共同作業を行い、埋もれていた地域資源としての坪瀨の滝などを掘り起こし、町内外から多くの人を訪れるようになっています。

竹原集落は、人口の減少と急速な高齢化、加えて耕作放棄地の増加、竹林・里山の荒廃などの大きな問題を抱えています。このため、平成15年4月に集落全世帯が参加し、「竹原郷づくり協議会」を組織し、集落の環境保全を図りつつ、元気あふれる集落づくりを目標に集落ぐるみでさまざまな取組みを始めました。具体的には、地元農家と都市住民との協同作業として次のような活動を展開しています。

地域資源の保全として農村景観づくりに取組み、都市住民が訪れたいくなる田舎、そして地元農家と交

流したくなる地域づくりを目指しています。集落内の「ヤブ(荒地)」の解消、「とちぎの残したい棚田21」に認定された「後田の棚田」の保全活動、NPO 法人「地球緑化センター」などのボランティア団体と連携した竹林・里山の整備活動、遊休農地、耕作放棄地を活用した果樹の植栽と体験農園としての提供をするなど、訪れる人が癒される(ホッとする)農村景観づくりを行っています。

また、かぐや姫の郷人(オーナー)による都市農村交流事業の展開、竹炭乾燥、タケノコ、竹細工品等の販売、再生した竹林を活用したタケノコ掘り体験、ブルーベリーつみどり農園の整備を通じて、所得を確保するための取組みも行っています。

#### ■講評

オーナー制度や観光スポット開発による都市住民との交流が盛んです。また、地域の住民すべてが参加した協議会が、NPOを通じて都市住民と共同で地域環境を保全する活動や、山村の文化景観づくりの取組みに対して高い評価がなされました。

